④ 地域医療を支えます　看護専門学校落成式

④　12月18日　　地域医療の発展と健康なまちづくりを願って建設された、市立看護専門学校の落成式が行われました。

2月には入学試験が、そしていよいよ4月からは、50人の看護婦（士）を目指す学生が通学を始めます。

オーシャンサイド　ナウ vol.④

Oceanside now

「オーシャンサイド広報担当ラリー・バウマンさんからのお便り」

今回は、ことしオーシャンサイドが行っている新事業の1つをお話しします。

ー旧学校を生かしたいー

オーシャンサイドには、1931年に建てられた学校があります。この学校は、カリフォルニア建築で有名な建築家がデザインしたもので、以前は英語学校や小学校として、広く利用されていました。しかし20年前から廃校の状態。建物自体も痛んできています。この歴史的建造物を守ろうと、3年前に市がこの建物を買い取りました。しかしどのように活用していくのかが一番の問題。そんなときに市を動かしたのは市民パワーでした。

ー旧学校をふれあいの場所にー

多くの市民団体から上がった意見は、この学校を地域のふれあいの場所である公民館にしては、というものでした。確かにこの旧学校のある地域には、公園もなく、市民のふれあいの場がないのが現状です。

この意見に市議会は、この学校が地域の誇りの源となり、活性化につながるのではということで大賛成しました。復元費については、企業や各種団体から材料や労働力の寄附を受けることに決定。うれしいことに、地元の土建業者や企業、市民団体、市民などから多くの支援をいただくことができました。

現在この学校は、土建業者や地域の住民から寄附を受けた材料と、ボランティアの人たちの労働力によって、オーシャンサイドの誇りとして着々と変身してきています。すでに新しい屋根、ドア、内装などが完成しました。

60年前の建物を、元のように復元するのは大変な労力と技術が必要です。しかし旧学校を復元するということで、市民、行政、企業が地域をよくしようと一つにまとまりました。ことしはこの建物が完成します。これをみんなが待ち望んでいるのです。

ただ今 熱中ちゅう バドミントン

夫婦そろって体を動かすのが好きという山田晃司さん。休日はソフトボールの審判で大忙し。そして木曜は、大渕公民館のバドミントン教室へ参加。気持ちのいい汗を流しています。もちろん奥さんも一緒です。

以前、インディアカをやっていたんですが、その原型とも言えるバドミントンをいつかやってみたいと思っていました。ちょうど今年度、大渕公民館で新たにバドミントン教室を開くと聞き、すぐ申し込みました。

敏捷性には自信がありますし、何といってもスマッシュが決まると気分がすっきりしますね。妻も参加していますが、もちろん私の方が腕は上ですよ。

教室に参加している皆さんも大変熱心でいままでのところ落後者は一人もいません。新年会も計画しています。でもお互いのきずなを深めるには、試合に出るのが一番。今は混合ダブルスの試合に出てみたいと思っています。

敏捷性抜群な山田さん
シャトルを的確にとらえます